

耳鼻咽喉科 発熱外来効率化・デジタル化「実現」セミナー

※全日程とも内容は同じです。ご都合のよい日程をお選びください。

Web開催	2022年12月11日	2022年12月17日	2022年12月18日	2023年1月8日	2023年1月15日
PC・スマホがあればどこでも受講可能!	10:00~12:00 (ログイン開始 9:30~) お申込み期限: 2022年12月7日(水)	16:00~18:00 (ログイン開始 15:30~) お申込み期限: 2022年12月13日(火)	10:00~12:00 (ログイン開始 9:30~) お申込み期限: 2022年12月14日(水)	10:00~12:00 (ログイン開始 9:30~) お申込み期限: 2023年1月4日(水)	10:00~12:00 (ログイン開始 9:30~) お申込み期限: 2023年1月11日(水)

※オンラインミーティングツール「Zoom」を使用いたします。Zoomご参加方法の詳細は「船井総研 Web参加」で検索

受講料	一般価格	10,000円 (税込 11,000円) / 1名様	会員価格	8,000円 (税込 8,800円) / 1名様
-----	------	----------------------------	------	--------------------------

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様、および関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

講座	セミナー内容
第1講座	耳鼻科の時流と2023年に向けたポイント 2022年の耳鼻咽喉科業界を振り返り、新型コロナ流行の中でも成長し続けている医院のポイントをお伝えします。また、2023年に向けた耳鼻咽喉科業界の時流をお伝えします。 株式会社船井総合研究所 ヘルスケア支援部 リーダー 井上 駿
第2講座	発熱外来効率化・デジタル化のポイントと事例 新型コロナ第7波(2022年7~8月)を乗り越えた医院の発熱外来の効率化ポイント、デジタル化を実現したオペレーションの仕組み、事例をお伝えします。 株式会社船井総合研究所 ヘルスケア支援部 名雪 希望
第3講座	まとめ講座 本日の講座のまとめをお伝えします。 株式会社船井総合研究所 ヘルスケア支援部 リーダー 井上 駿

お申し込み方法

Webからお申し込みいただけます!

右記のQRコードを読み取りいただきWebページのお申込みフォームよりお申込みくださいませ。

※お申込みに関してのよくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください。
セミナー情報をWebページからもご覧いただけます!
<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/092966>
 TEL:0120-964-000(平日9:30~17:30)

【年末年始休業のお知らせ】
 2022年12月28日(水)正午~2023年1月5日(木)まで
 ※休業期間中は電話が繋がらなくなっております。
 ※Webからのお問い合わせには1月6日以降順次ご回答させていただきます。
 ※なお、受講申込はWebより24時間受け付けております。ご不便をお掛けいたしますが、何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

オンラインセミナー	2022年12月11日	2022年12月17日	2022年12月18日
	10:00~12:00 (ログイン開始 9:30~)	16:00~18:00 (ログイン開始 15:30~)	10:00~12:00 (ログイン開始 9:30~)
	2023年1月8日	2023年1月15日	
	10:00~12:00 (ログイン開始 9:30~)	10:00~12:00 (ログイン開始 9:30~)	

PC・スマホがあればどこでも受講可能!

IT活用×スタッフ戦力化で

発熱外来 100人 を診た

1日最大

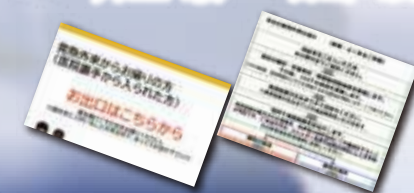
耳鼻科の成功モデル公開セミナー

発熱外来 効率化に向けたポイントとは

- ①電話対応を減らす案内方法**
 コロナ流行拡大時には医院の電話が鳴りやまない!
 電話を削減しスムーズに運営するには**HPの案内の「やり方」**にポイントがあります。
- ②デジタル化による移動・会計の効率化**
 車と医院との往復が多い!会計が詰まる!
 移動や会計の時間を最小限にするには**システムの「上手な活用」**がポイントです。
- ③患者の流れをスムーズにする各種ツール**
 患者へのコロナに関する説明、
 導線の案内、資料やツールの**使い方を見直す**ことがポイントです。
- ④スタッフの協力体制のもと実現する分業オペレーション**
 医師一人ではどんなに努力しても限界があります。スタッフの協力を得るためには、
 日々の**スタッフマネジメント・会議体制の整備・リーダー育成**が欠かせません。



株式会社船井総合研究所 ヘルスケア支援部
 リーダー **井上 駿** **名雪 希望**



2021年から対策をしてきた医院に聞く...

発熱外来最大100名/日を超える!



オペレーションや会計の
 仕組みの見直し、デジタル
 化を行い効率化を実現
 しました。



車と医院の往復回数が
 4回→1回に!

電話の問い合わせ数が
 半分に!



詳しくは中面をご覧ください!

主催

明日のグレートカンパニーを創る
Funai Soken

耳鼻咽喉科 発熱外来効率化・デジタル化「実現」セミナー 12月お問い合わせNo.S092966 1月お問い合わせNo.S093045

株式会社船井総合研究所 〒541-0041大阪市中央区北浜4-4-10 船井総研大阪本社ビル ※お問い合わせの際は「セミナータイトル・お問い合わせNo.・お客様氏名」を明記の上、ご連絡ください。

Webからお申し込みいただけます。(船井総研ホームページ [www.funaisoken.co.jp] 右上検索窓に「お問い合わせNo.」を入力ください。) → 092966

発熱外来の効率化対策は早期の着手が未来を分けます！



デジタル化による診療効率化を実現したモデル事例
デジタルツールに留まらない効率化事例を本セミナーでお届けします。

駐車場や場所が
少ない
クリニック

先生のクリニックはどちらのパターンでしょうか？

駐車場が
ある程度あり
発熱外来を実施できる
クリニック

院内型 発熱外来事例

東京都内の耳鼻咽喉科クリニックでは、新型コロナウイルス感染拡大に比例して、発熱外来を希望する患者が殺到。患者の待ちスペースも常に満杯で、第5波（2021年夏）の際は、電話も常に止まらない状況になっていた。

その時の反省を踏まえ、電話の問い合わせの徹底的な対策や、限られたスペースで患者を高速回転させる会計システムの考案、オペレーションの再構成により、通常診療と並行して多いときは100名近い発熱患者を診ることができ、第6波・第7波の感染拡大を乗り越えていった。

ドライブスルー型 発熱外来事例

郊外の耳鼻咽喉科クリニックでは、駐車場を利用した発熱外来を実施。患者には車内で待機していただく形でスペース的な問題はなかったが、医師・看護師・スタッフの「クリニック⇄車内の往復」が負担となっていた。

そこで、オンライン診療システムを活用した発熱外来を実施し、クリニックと車内との往復の回数を最小限に。通常診療と並行して発熱外来を実施できるような仕組みを実現した。

セミナー当日では下記のような内容をお伝えします。ぜひご参加ください。

詳しくは
当日お伝えします！

- ・電話負担“激減”！IVR活用事例
- ・患者からの問い合わせを最小化するHPの案内方法
- ・電話回線がすぐに埋まってしまう医院の対策方法
- ・スムーズに情報を受け渡せるWeb問診の活用方法
- ・お問い合わせをAIで回答“チャットボット”とは？
- ・システムの使い方がわかりません！とはならない案内方法
- ・スタッフが院長についてくるための2つのポイント
- ・リーダースタッフ抜擢・育成までの流れ

- ・DX実現！オンライン診療システムを利用した発熱外来
- ・まるでドライブスルー！移動を極限まで減らす駐車場×発熱外来
- ・会計のデジタル化やアナログでの工夫による効率化
- ・後払い会計の活用による患者の省スペース高速回転事例
- ・患者が迷わない！スムーズに案内する院内ツールの活用事例
- ・説明効率化！患者に納得いただくための説明資料の作り方
- ・スタッフとの連携を強める会議体制の作り方
- ・スタッフのモチベーションを高める“秘策”



ひとつでも該当する先生は、ぜひセミナーにご参加ください

- ✓ コロナ第7波の発熱外来で苦労した医院
- ✓ 発熱外来でスタッフが疲弊している医院
- ✓ デジタルツールを用いた診療効率化に取り組みたい医院
- ✓ 今後の流行に備えて発熱外来の仕組みを見直したい医院
- ✓ 発熱外来でスタッフの協力を得る方法を悩んでいる医院



株式会社船井総合研究所 コンサルタントよりメッセージ

第7波で発熱外来を実施されていた先生は、今までにない感染者数を受け、7～8月はめまぐるしい日々を送られたことかと存じます。今後、新型コロナウイルス感染症が5類相当になるかどうかの議論は不透明なところはございますが、クリニックの現場ではトリアージは必須です。第8波やインフルエンザの流行、インフル・コロナの同時流行といった可能性も否定できません。流行が落ち着いているタイミング、耳鼻科の繁忙期前に、ぜひ一度発熱外来の見直しを実施できればと思いますし、本セミナーが貴院の負担軽減の一助になれば幸いです。



株式会社船井総合研究所
ヘルスケア支援部
リーダー 井上 駿